

# 都連盟ニュース

No.338



蒲田富士から笠ヶ岳 山の会かたつむり 陶山氏提供

今月号は **総会 特集号!**

## 今月号の目次

- ◇ 総会を終えて 上平理事長 .....P2
- ◇ 第25回総会報告 .....P3~7
- ◇ 山筋体操教室案内 ..... P8
- ◇ 絵手紙体験と交流会 報告 ..... P9
- ◇ 理事会報告 ..... P9~10
- ◇ 事故一報/トピックス ..... P11
- ◇ 特別基金登録/規約改正 その他 .....P11
- ◇ 都連盟日程 .....P12



**東京都勤労者山岳連盟**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

Tel & Fax 03-3260-0372 \*E-mail twaf@twaf.jp URL <http://twaf.jp>

発行責任者 上平 久治 編集 陶山 正

連盟費納入振込先

【三菱東京UFJ銀行】都立大学支店 店番 111 普通：0280855 口座名：東京都勤労者山岳連盟

【ゆうちょ銀行】00160-6-539150 口座名：東京都勤労者山岳連盟

## 総会後の新年度に向けて

### 「新たな活動の取り組み」

3月2日大田区立消費者生活センターにおいて、「東京都勤労者山岳連盟第25回定期総会」が開催され、前期の総括と今期の方針が決まりました。

各部局・専門部の引き継ぎを行い、新体制で活動を開始しています。今後とも皆様のご協力をいただけますようお願いいたします。

都連盟としては、安全で楽しい登山活動していくためにも、「危険予知、危険回避」ができるリスクマネジメントのできる登山活動が求められています。都連盟として積極的に、教育活動、技術講習、危険に対するシミュレーションの訓練等の活動が一層大切と考えます。連盟の仲間2,900名に近い仲間の知恵と力が連盟に必要です。会員の皆様方のお力添えを願うものです。

「一粒の雨が大河を作る」のです。

東京都連盟理事長 上平久治



第25回 東京都勤労者山岳連盟 総会参加者 2014.03.02

## 東京都勤労者山岳連盟第25回総会報告

書記：大野俊幸 松野千代加

1. 日 時 2014年3月2日(日) 午前10時～午後4時  
 2. 開催場所 東京都大田区「大田区立消費者生活センター大集会室」  
 3. 団体総数 登録125団体 4. 代議員総数 定数139人 5. 出席代議員 96名

## 【開会宣言】岸田 副理事長

ご出席いただいた方々の熱い議論を期待し、東京都勤労者山岳連盟第25回総会を開始します。

## 【会長挨拶】佐々木 会長

労山の今一番私達が気になるところは、事故とか遭難だと思います。労山全体の事故一報は年間300件程度です。これは、労山は共済と言う形で運営していますので、保険がおりのだけが報告ではなく、重大事故に繋がるといものは労山仲間に広めて一つでも再発防止に繋げていくため全ての事故を躊躇なく報告してもらっています。高所での事故は2009年が一番多く、少しずつ減ってはきています。都連盟では昨年45件、最高は2010年の84件でした。また、全国の死亡事故は、2009年19件、2013年は14件、2013年の14件の内都連盟で4名の死亡事故が起きています。1月の劔岳で2名、5月ダウラギリで1名、8月浅間山で1名となっています。

(14名の方々のご冥福を祈り「黙とう」)

一方で社会情勢を見てみますと、2020年のオリンピック開催が決まりましたが、原発事故、TPP、特定秘密保護法、集団的自衛権等々問題は山積、平和あってこそその登山、社会環境とのかかわりにも意識を持つことが重要だと思います。また富士山の世界文化遺産登録で、登山規制、入山料、環境問題などありますが、「山の日」制定がほぼ決まり、登山を文化とする我々にとっては一步前進したと思っています。

本日は、全国連盟の総会でも多くの意見がだされ都連盟の課題でもある、遭難をなくす、仲間を増やすなど、組織化された労山活動の意義を考えながら建設的な議論を進めていただきたいと思います。最後に、長野県で北アルプス等でのヘルメット着用推奨運動をおこなっています。ヘルメットは長野県警等で貸出をしてくれます。安全登山からも是非お勧めいたします。

## 【来賓挨拶】全国連盟 西本 会長

先程、佐々木会長からヘルメット着用の話がでしたが、今は150g程度の折りたたみ式ヘルメットがあり、事故のほとんどを占める尾根歩きや縦走で着用すれば3~4割の事故件数が減ると思います。是非ヘルメットの着用をお勧めします。

2月に全国の総会があり、年々歳々議論が低調になっている。山岳団体なのに山が語られない。

登山団体は山に登る集団ですから、登るために技術を勉強したり、遭難をなくしたり、自然を守ったり、仲間同士の交流を深めたりするのが目的、連盟はそれを求め進めていく組織です。

総会の議論の内容は省きますが、目的が語られない労山に危惧を感じています。都連盟が活発な活動に取り組み、全国連盟を活気づける推進役となっていただく事を切に願います。

## 【総会役員選出】提案

理事会より推薦した下記の代議員を承認後 議事進行。

- ・議長：加藤征人（HC山ぼうし） 深澤正人（町田グラウス山の会）
- ・議事運営委員：台とみ子（野火止山の会） 五十畑理事
- ・選挙管理委員：榎本 久（大田山の会） 有田理事
- ・資格審査委員：木立 淳（神田山の会） 島村理事
- ・書記：大野理事 松野理事

【議長団あいさつ】 町田グラウス山の会の深澤氏。多摩西部地区連盟・HC山ぼうしの加藤氏挨拶。

【資格審査報告】 総会が成立していることを報告。

## 【議事日程提案】

【議長】 役員立候補は12時45分まで選挙管理委員まで届け出ることのお願い。

## 【第1号議案】

## ◇はじめに及び1年間の都連盟総括

## 総括

2013年度の総括報告と2014年度の活動方針案の提案について討議・決定をする本総会の趣旨を説明、厳しい経済社会状況による登山困難性を乗り越え、安全登山を目指す“山愛好者の集まり”としての活動を皆様とともに考えていきたい。昨年労山全体の登録者数は20,426人で微減、高齢化の影響ではあるが、都連盟としては若者登山者を含め広範な未組織の山愛好者を、各会・会員と一緒にどう仲間に入れていくか考えていきたい。労山パートナーズの推進も継続して行く。

都連として教育と事故防止に力を入れているが、今期の事故は45件、うち重大事故4件、いかに事故を減らすか教育にかかっている。各地区連盟でも安全対策活動費補助制度を活用して教育に力を入れていただきたい。幅広く活用してもらうため現行1回2万を1万円に減額の提案をした。

## 組織

都連盟は125団体2865名の組織、今期20名減の中には会費未納の会を脱退扱いにした分も含む。組織維持のため新しい仲間を取り込む活動が重要。

## 遭難対策活動

事故を減らすためには技術の継承が重要、各会も事故を減らし安全登山を追求する努力をお願いする。

## 自然保護活動

クリーンハイクの取り組みについては、地区連盟の活発な活動で労山活動の牽引役になっている。より充実した活動が出来る体制をつくるため協力要請をした。

## 理事会活動

毎月1回理事会を開催、都連盟ニュースで報告、理事定数不足のなか思うような活動が出来ていないが努力していく。2014年度については各部局・各委員会から報告を行う。

## ◇各部局・委員会の2013年度活動報告と2014年度活動計画(案)

## (1) 事務局

会の増減は別紙を参照、脱退会についての特徴は会員5名以下の団体である。全国の都道府県連盟の増減表を別紙に載せているので参考にしてほしい。ROUSANパートナーズは告知不足で登録者が少ない。都連の行事に参加を募り今後につなげていく。地区連盟は別紙を参照、代表者会議は年3回開催、理事会は理事定数枠を満たしていないので増員を願いたい。

## (2) 教育部

講習会・学習会、登山学校を主体として活動。12月に「山と高層天気図」を開催、ハイキングリーダーコース・初級岩登りコースも連年通り開催し終了した。東京山スキー学校は都連盟共催、沢登り教室は継続検討中。ハイキング・初級岩登りを通して未組織登山者の「学びたい」という人が増えているのを感じる。2014年度のハイキングリーダーコースについては山溪・岳人に広告掲載、HPにも掲載し一般も含めた募集を行っている。初級岩登りコースは労山会員・ROUSANパートナーズ限定で募集している。

## (3) 遭難対策部

10月に日和田の岩場で懸垂下降のスッポ抜けで足首粉碎会報骨折、背骨の圧迫骨折、後遺症が残る事故が発生。チョットした判断ミスでこのような事故は誰でも起こり得る事、教育だけでは行き届かない部分がある。個人1人1人が想像力を養い力をつける事が重要である。

長野県の山岳警備隊の隊長の話として、今の登山者は海水浴に行くみたいに槍・穂高に行く、そして事故を起こす。事故一報の数字からは世の中の動きと違うのが読み取れた。

2年に1回開催の「遭難対策研究集会」を開催52名の参加があった。特に印象的だったのが、我々山

岳会はストックで担架を作る事を学習会でやるが、ストックの専門メーカーとしてはやらないでもらいたいとの事。その他詳細はP21参照。2014年も昨年同様の活動を継続するが、各会の遭難対策担当者が横につながりを持つための集える場所があってもいいのでは、⑤項目に記載したが「遭難対策担当者の集い」を計画中である。

#### (4) 活動交流部

活動の方向性はまだ決まっていないが、当面各会の例会訪問を実施、昨年は3回訪問した。訪問を通じて会の悩みを聞いたり、都連盟の活動を知ってもらう機会としたい。2014年度も継続して訪問したい。

### 【第2号議案】2013年度補助機関活動報告と2014年度活動計画(案)

#### (1) 教育指導委員会

教育指導委員会は、学校をやっているが、ハイキングも岩登りも勉強したいと言う一般の方の参加が増えている。ハイキング一般4名、学生6名、岩登りについては一般で申込をし、ROUSANパートナーズの会員登録で受講した人も6名いる。第10期山スキー学校の参加は7名だが労山会員はいない、今後の課題である。2014年度はすでに案内をしているが、各会で教育出来ない状況をカバーするため学校は必要である。単に学校と言う器を作るのではなく、内容に責任を持って運営に当たることが都連盟の方針である。ひいては各会の安全にも繋がっていく。

#### (2) 自然保護委員会

メイン活動はクリーンハイクの実施、都連盟として62会636名、25コースで総計845.1kgのゴミを回収した。2014年度も引き続きクリーンハイクは実施、第1回実行委員会を3月31日(月)に予定、地区連盟の担当者の出席要請をした。新たな試みとして各会の自然保護担当者との交流会を計画、案内の際は積極的に出席していただきたい旨を重ねて要請した。

#### (3) 救助隊

結論から申し述べると救助隊の活動そのものも年々低調の度合いを深めている。救助隊の組織に期待する所もあるかと思うが、本当の意味での救助隊の活動はプロフェッショナルなものであって、隊員の余暇の中でこなして行くのはかなり難しい。今後の救助隊組織はどうあるべきかが問われているが、現状の中で発展的な活動を続けていく。

#### (4) 海外委員会

一時休止していたが昨年活動再開、海外登山の組織登山は減少している。旅行会社主催のトレッキングが主流で個人参加がほとんどである。今後は、全国に提出されている海外登山計画書の閲覧で情報収集を行いながら、各方面と組織的なネットワークの構築を目指したい。

#### (5) ホームページ委員会

昨年ウイルス感染を除去できずホームページを閉鎖していたが、現在仮のホームページを立ち上げて運用、本総会をもって正式なホームページとして内容の充実を図る。①項～⑤項及び各会からの情報など掲載し発信を行っていく。

#### (6) 女性委員会(女性ネットワーク)

安全登山に関する講習会を2回実施、東日本大震災支援の一環として、岩手県大槌町の「菜の花プロジェクト」活動を支援、全国の女性委員会主催の福島での交流会にも参加した。

今年度も、都連盟の女性会員が楽しく安全な登山活動を続け、会や組織の中で大いに力を発揮していけるような活動にしたい。3月8日絵手紙を材料として交流会を開催する、交流会開催は女性ネットとして初めての試みである。全国女性委員会主催の「福島の子供たちとキャンプ(長野県で開催予定)」も支援して行きたい。

#### \*震災復興支援実行委員会から報告

今後も活動は継続していく、P14の支援金口座の説明、P16公募の方法の①項～⑤項で⑤の公募認可されたボランティアコースにはP14の支援金口座から補助金による支援も検討する。



**【【質疑応答】 \*\*\*\*\*第1号議案・第2号議案\*\*\*\*\*】**

< Y 氏 >

- ・14年度活動方針としてそれぞれ部局で掲げてあるが、それと共に組織全体で取り組む「最重点項目」を毎年策定することを理事会で検討してはどうか。

(理事長) 今年度は教育の分野を強化するとか、会組織の拡大など提案しているので、会の皆さまも目標に向かって活動が出来るのではないかと考えている。第1回代表者会議に向け提案を網羅できるか検討していきます。

< T 氏 >

- ・会員の拡大で、大阪の90名減とか群馬の減少とかありましたが、ハイキングの立場から申し上げると大型ハイキングクラブの脱退は当会にとって他人ごとではなかった。5年まえ100名いた当会も30名が別の山の会をつくり退会したものの脱退には至らなかった。大型ハイキングクラブの脱退防止策を労山としての対応を考えていただきたい。また、特別基金の問題でドア to ドアや3倍保障制度はハイキング層には有意義であったが、これの見直しは残念である。ハイカー層と岩登り・沢登り等一緒の制度をハイカー層にむけた基金制度設定を望む。さらに、基金制度の死亡保障は100~200万円と高くして制度財政を圧迫の主要因であり、今後対象が増えるハイカー層を見据えた対応を希望する。

**【議長】 第1号議案・第2号議案の承認について。 賛成多数で承認。**

**【第3号議案】 2013年度決算報告と監査報告 決算報告**

2013年度の執行状況は、昨年の総会で承認された予算にもとづき執行した。

総収入8,028,088円、支出7,456,775円で今期571,313円の増資を計上した。予算対比で収入の部では、雑収入のカレンダー事業、基金の還元金があり若干増えている。支出の部では、自然保護委員会の執行なしで未支出、地区連盟安全対策助成金9地区連盟12行事申請で増額、コンピュータ関係費もウイルス対策等で増額になっている。

**【監査報告】**

現金及び預貯金、会計帳簿諸帳票等を監査した結果、それぞれ管理保管は適正に行われていたので適正と認める。

**【質疑応答】 \*\*\*\*\*第3号議案\*\*\*\*\*】**

脱会山岳会の会費「未徴収」表記が分かりづらいので物理的に回収できない会（連絡が取れない、会の実態がない等）の実態を説明してもらいたい

(会計) 五団体を説明、連絡の取れる二団体には請求を行う予定

< H 氏 >

未納会計処理は一括損金処理を行うべきである。

**【議長】 決算書を上記の形で修正することで承認の採決を行いたい。賛成多数で承認（代表者会議で報告することで承認）**

< H 氏 >

今後は除籍(脱退)の未入金については、収支決算には影響しない処置を行う。表外下欄に記載してある未収金が減るので、繰越金も減になるだけである。未納の会を脱退とすることを承認したのは2013年度議案書を提出する段階で、理事会が承認した。したがって、2014年度決算で未収金を損金処理し、明細から削除すれば、今回は修正をする必要はないのでは。

**【議長】**

上記の意見を参考に決算書の表記を分かりやすく修正し、代表者会議で報告します。他に質問がなければ2013年度決算報告についての採決を行いたいと思います。賛成多数で承認

**【第4号議案】 2014年度予算(案)の報告 予算(案)の報告**

2014年度予算案の説明、従来の“行事集会費”の中のクリーンハイクを自然保護委員会扱い、その他行

事を事務局関係費に振り分けた。なお、連盟費の内訳は別紙のとおりである。

**【質疑応答】 \*\*\*\*\*第4号議案\*\*\*\*\***

<N氏>

会の交流促進の意味から、山で遭遇してお互いを労山の会と認識できる方策として、2013年度約50万円、2014年度も約15万円の黒字予想の余裕であれば、ペンナント又はワッペン・シールなどを作製・配付してはどうか。

(理事長) 趣旨は賛同できるので、理事会で検討し代表者会議に提案し詰めてみたい。

<H氏・N氏>

収入について、未収金明細に記載の団体は計上してあるのか。

(会計) 昨年度から、単年度の収支決算とするため単年度で発生する連盟費未納分も収入に計上している。よって、次年度入金になっても収入には加えず、資産の未収金が預貯金に替わるだけである。

**【議長】** 第4号議案の承認について採決を行いたい。**賛成多数で承認**。案を削除し正式な予算とする。

**【第5号議案】 規約・規則改定 (案)**

①規約の改正…第十四条の二、第十五条(5) ②規定の改正…第二条(1)

**【議長】**

質問がないようなので、第5号議案の承認について採決を行いたい。

この規約の改廃は、規約第30条で総会の三分の二以上の賛成を必要とする、とありますので賛成の方は代議員票で提示してください。賛成多数(委任状含む)と認めます。**賛成多数で承認**。案を削除し正式な規約・規定の改定とする。

**【選挙管理委員会からの役員選挙提案】**

(選挙管理委員 有田): 立候補の受付は特に無かったので、推薦の役員候補者の信任を行うことで選出いたします。名簿の候補者名に○×で投票願います。

**この選挙開票の時間を利用して功労賞の表彰**

(栄誉功労賞(2名)、永年功労賞(54名)の表彰)

栄誉功労賞 前川秀幸氏(町田グlaus山の会) 欠席にて同会の寺山会長授与、

大峽直人氏(山の会かたつむり) 欠席にて赤井氏に授与

永年功労賞 代表して亀井千代枝氏(大田山の会) 欠席にて同会の長澤氏授与

**【選挙管理委員会からの結果報告】**

全員、信任されたことを報告します。

上平理事長: 議長団解任の前に、理事会推挙の会長佐々木功氏、副会長臼井邦徳氏をご報告します。

**【議長団の解任】**

**【退任理事の挨拶】**

山本: 現役でプレイングマネージャーの形で仕事をしているので、先程の山田さんの言われた新年度の都連の大きな柱は何なのかと言う話を聞かされ、そうだな、ビジョンを示さないで人はついてこないと感じいった次第です。理事を5年間やってこれたのも皆さまのお力添えのお陰、ありがとうございました。

豊田: 1年でしたが、これからは同じ会の若手が頑張ってくれると思います。ありがとうございました。

**【新年度選出役員】**

佐々木会長、臼井副会長、上平理事長、陶山副理事長、佐藤副理事長、元井事務局長、有田理事、五十畑理事、大野理事、岸田理事、栗原理事、島村理事、増田理事、松野理事、村上理事、吉田理事、小幡理事、中林理事、加藤理事、芝田理事、玉林監事、河野監事、以上



# ヤマキン 山筋体操教室 を開きます

2014年1月7日

日本勤労者山岳連盟  
女性委員会

冊子「山筋ゴーゴー体操」を皆さんにお届けして2年数ヶ月がたちました。

冊子の継続利用は難しいものです。冊子片手にサラッとこなしたり、無理は禁物と身を守ったり、悪戦苦闘されておられることでしょう。

女性委員会は、首都圏の皆さんと共により効果的で継続できる山筋体操の習得のため、定期的に教室を開くことになりました。労山会員外の方も歓迎します。お誘いあわせてどなたでもご参加ください。

何事もはじめは苦しいものです、まずはいちにち通ってみませんか！

## 1 日程：毎月第2水曜日午後5時30分～6時30分

2014年は3月12日、4月9日、5月14日、6月11日（1月、2月は休みです）

## 2 場所：日本勤労者山岳連盟 1階会議室

新宿区新小川町5-24 地下鉄・JR「飯田橋駅」下車10分

## 3 用意するもの：運動に適した服装、スニーカー、タオル

## 4 費用：500円（ただし、労山会員は無料）

## 5 申し込み、お問い合わせ：日本勤労者山岳連盟 女性委員会まで

メール [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp) FAX 03-3235-4324



## 「絵手紙体験と交流会」報告

主催：女性ネットワーク委員会

日時：3月8日（土曜日）午後1時～4時40分 場所：全国連盟事務所1階

参加人数：20名（男性2名、女性11名、スタッフ6名、講師1名）

講師名：青柳百合子さん（神奈川県連盟山ブキの会）

### ■ 絵手紙体験

「へたでいい、へたがいい」という絵手紙の言葉に勇気づけられ、描いた絵が右の写真です。講師からは「色彩は華やかなほうが良いですよ。貰った方もうれしいものです」等の批評を頂きました。参加者は「手軽に描けそうなので再度挑戦してみようかな」と絵手紙にすっかり魅せられたようでした。



### ■ 交流会

「私の山、女性として思っている事」ザック balan に語り合いました。50年以上登山をしているが最近体力の衰えを感じている方や、週4回行っているというツワモノの方もおられました。最近入会された方達では、仲間と一緒に登りたい、体力維持の為に理由は様々でした。女性の



悩ましい問題も出ました。「早く帰るとごはん作らなければならないしー」「トップは男でいい、炊事は女でいい、というのもどんなかなあ〜」等。年齢・性別も様々、山の経験や現在の山行状況も違いましたが、皆さん、山に掛ける強い思いでいっぱいでした。

（報告者：池原）

## 第1回東京都連盟理事会報告 2014年3月10日（月）19:00～21:30 陶山記

出席者（敬称略）有田、臼井、大野、小幡、上平、岸田、栗原、佐々木、佐藤、島村、陶山、元井、吉田

### ・第1回理事会なので新理事の自己紹介

#### 1. 理事会の役割説明

都連盟 2865 名を代表して都連盟の運営をになっていく。

理事会は月1回、第一月曜日が基本。

理事会資料は事前に理事会の四日前に事務局へ提出。

理事会で配付した資料は個人情報も含まれていますので、非公開が原則です。

#### 2. 三役会議（拡大三役）

理事会開催前に、理事長、副理事長、事務局長に加え、会長・会計担当も参加して開催

拡大三役は理事長の判断で必要なときに三役メンバーに部長・委員長を加え開催

#### 3. 部会・委員会

各部・委員会は各部長・委員長が招集し開催

なお各部・委員会の行う会議・行事については、連盟活動全体を把握するために必ず、事前

に事務局長まで連絡すること。

理事会で承認された会議・行事などの広報ですが、都連盟ニュース・HPにて広報・宣伝いたしますので広報部（担当：陶山）まで

#### 4. 当面の理事会日程

・理事会：4月7日、5月12日、6月2日7月7日・三役会議：3月27日、4月24日、5月22日、6月25日・代表者会議：7月28日、11月25日、2月9日・来年の総会：3月1日

#### 5. 事務局

会計処理について

名簿：理事の基本調査票を提出

名刺作成：三役、各部長、各委員長、必要な理事

都連盟ニュース原稿3月24日まで、3月27日印刷・発送

事務所利用心得：事務所のドアに表示。事務所利用はホワイトボードの予定表に記入、会議が重複しないように調整すること。

各都連盟山岳会への総会出席要請

3/16 石神井山の会、3/30 東部地区連盟、町田グラウス、4/8 杉並地区連盟

新規加盟団体

Team CEEL (13名) 承認

#### 6. 各部・委員会・地区連盟の報告

会議予定はこれから

#### 7. 理事の役員人事

会長：佐々木 副会長：臼井 理事長：上平 副理事長：佐藤、陶山 事務局長：元井  
会計監査 河野、玉林

教育部：佐藤、臼井、佐々木、陶山、元井

安全対策部：芝田、臼井、島村

組織部：栗原、有田、元井、小幡

広報部：陶山、大野、元井、吉田

事務局：元井、松野、陶山、大野、吉田

海外委員会：五十畑、島村

救助隊：臼井、村上

教育指導委員会：佐々木、佐藤、陶山、元井、吉岡

自然保護委員会：松野

女性ネットワーク：岸田

震災復興担当：栗原、増田

#### 8. 第25回都連盟総会 総会成立、

詳細別途報告参照

総括・方針・規約改正 原案通り承認

会計予算修正報告（次回代表者会議）

#### 9. 当面の委員会の予定

クリーンハイク実行委員会

3/31 第1回 実施要項決定、コース報告

4/24 第2回 コース最終調整、自治体申し入れ

5/26 第3回 最終打ち合わせ、物品配布

6/1 クリーンハイク実施

6/23 第4回実行委員会 実施結果まとめ

#### 10. その他

・自然保護交流集会 ・海外委員会交流集会 ・全国遭難対策研究集会



## 【事故一報】

2月22日 湯河原 幕岩 リードクライミング中に転落。左手首骨折 28歳 男性

2月23日 越後山塊 八海山 ルート偵察途中天候悪化。下山途中ゲレンデ中間部で転倒。左鎖骨骨折  
55歳 男性

3月1日 丹沢 大山 積雪の登山道を下山中足を滑らせて両足脹脛・太腿等をいためる。膝・股関節捻挫  
56歳 女性

事故一報は、全国連盟への提出と併せて東京都連盟にもお願いいたします。

<提出先>

郵送：〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号 FAX：03-3260-0372 E-mail：[twaf@twaf.jp](mailto:twaf@twaf.jp)

**危険なストックの使い方 最近のストックは横からの力に弱い！**

**担架のかわりに使っていたけれど、最近の強度が補償されていない。代用にしないように！**

## 【重要なお知らせ】

### ★トピックス

**都連盟のホームページ 正式 URL 開設します**

<http://twaf.jp/> で御案内いたしますので宜しくお願い致します。

## 労山特別基金 情報

### 各会「特別基金担当者」の皆さんへ

都連盟の多くの会が

3月～4月 は特別基金の申込み月(更新月)です。

「特別基金申込み案内」が事前に各会の担当者に届きますので手続きを忘れないように。  
忘れていて、継続特約を受けられない会が過去にもありました。

## 25回都連盟総会で一部「規約・規定」が変わりました。

3月2日から規約・規定の変更

### 【規約】

第十四条の二 執行のために各部局及びを追加する。

第十五条の補助機関の変更・追加を行う。

①ホームページ委員会改めメディア委員会とする。②震災復興支援委員会を新設する。

### 【規定】(各部局および専門部に関する規定)

第二条の部を整備

①事務局 ②組織部 ③安全対策部 ④教育部 ⑤広報部 を設ける

各部の任務は第三条から第七条までに記載。

### ● 都連盟が行っている東日本大震災支援活動募金

都連盟が行っている復興支援活動のための活動募金も行っていますので、ワンコイン募金など引き続き支援を呼びかけて下さい。



## 2014年 4月 東京都連盟 予定表

		理事会	委員会
1	火		
2	水		初級岩登りコース 開校式 1回机上
3	木		
4	金		
5	土		ハイキングリーダー学校 開校式 1回机上/初級岩登りコース 1回実技
6	日		
7	月	理事会	
8	火		
9	水		初級岩登りコース 2回机上/山筋体操教室(女性ネット)
10	木		
11	金		
12	土		ハイキングリーダー学校 2回机上/初級岩登りコース 2回実技
13	日		救助隊チームレスキュー訓練
14	月		
15	火		
16	水	メディア委員会	初級岩登りコース 3回机上
17	木		
18	金		
19	土		ハイキングリーダー学校 1回実技/初級岩登りコース 3回実技
20	日		
21	月		第2回クリーンハイク実行委員会
22	火		
23	水		
24	木		都連盟ニュース印刷発行
25	金		
26	土		
27	日		
28	月		救助隊定例会
29	火		
30	水		

## 2014年 5月 東京都連盟 予定表

		理事会	委員会
1	木		
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		初級岩登りコース 4回机上
8	木		ハイキングリーダー学校 3回机上
9	金		
10	土		ハイキングリーダー学校 2回実技/初級岩登りコース 4回実技
11	日		
12	月	理事会	
13	火		
14	水		初級岩登りコース 5回机上/山筋体操教室(女性委)
15	木		
16	金		
17	土		初級岩登りコース 5回実技
18	日		
19	月		
20	火		ハイキングリーダー学校 4回机上
21	水		女性ネットワーク委員会
22	木		
23	金		
24	土		ハイキングリーダー学校 3回実技/初級岩登りコース 6回実技
25	日		ハイキングリーダー学校 3回実技
26	月		第3回クリーンハイク実行委員会
27	火		
28	水		
29	木		都連盟ニュース印刷発行
30	金		
31	土		

## 【編集後記】

やはりここは話しておかなければならない。3月21日は仲間と会津駒ヶ岳に行こうとしていたが吹雪で登山は中止した。一方で柵池では雪崩事故で1名が亡くなられた。この場所は雪崩に遭わないための講習会で雪崩地形を学ぶ良い場所なのだが、それ故に行動を注意しなければならない場所なのだ。講習会資料として3月7日に地形・雪崩跡などの写真を撮りに行ったばかりだった。雪崩に対する知識・警戒心が少しでもあったらと思うと残念でならない。T・S